

# 12月19日（火）石の上にも

「<sup>がくもん</sup>学問のすすめ」で<sup>ふくざわゆきちせんせい</sup>福沢諭吉先生は、「3年とか5年、ひとつのことを<sup>べんきょう</sup>勉強すれば、<sup>せいこう</sup>成功できる」と<sup>い</sup>言っています。



「<sup>いし</sup>石の上にも3年」という<sup>ことば</sup>言葉があります。ひとつのことを、<sup>ほんとう</sup>本当にできるようになるには、**3年**はかかる、という<sup>いみ</sup>意味です。

お<sup>いしゃ</sup>医者さんになるには、<sup>すく</sup>少なくとも6年は<sup>だいがく</sup>大学に行かないといけないし、<sup>がっこう</sup>学校の<sup>せんせい</sup>先生になるにも4年間<sup>だいがく</sup>大学で<sup>べんきょう</sup>勉強をしないとなれません。

これは、<sup>なら</sup>習い事も<sup>おな</sup>同じでしょう。サッカーだって、<sup>しゅうじ</sup>習字だって、<sup>すこ</sup>少しだけ<sup>なら</sup>習った<sup>ひと</sup>人が「**5年間やってる人**」には、**かなわない**と<sup>おも</sup>思います。

特に<sup>とく</sup>子供の<sup>とき</sup>時には、**3年間**<sup>つづ</sup>続けるともの<sup>ちから</sup>すごい**力**になります。5年<sup>つづ</sup>続ければ、もっと<sup>ちから</sup>すごい**力**になるでしょう。子供の<sup>とき</sup>時は、<sup>み</sup>身につくのが<sup>はや</sup>早いのです。皆<sup>みな</sup>さんも<sup>なに</sup>何かを<sup>つづ</sup>続けてやって、もの<sup>ちから</sup>すごい**力**にして<sup>くだ</sup>下さい。

村越 新